

**第2期黒郷地区まちづくり推進計画
(黒郷地域ビジョン)**

令和5(2023)年3月

黒郷自治会

三原市久井町黒郷

目 次

序章	計画策定にあたって	1
1	地域ビジョン策定の目的	1
2	地域ビジョンの役割	1
3	地域ビジョン策定の取組	1
1章	地区の概要	2
1	位置	2
2	人口・世帯数	3
3	地区活動の状況	4
2章	地区の魅力・資源と問題点・課題	7
1	地区の魅力・資源	7
2	地区の問題点・課題	8
3章	地域ビジョン	9
1	地区の将来像	9
2	地区づくりの目標設定	9
3	地区づくりの体系	11
4	地区づくりの基本計画	12
5	計画の推進体制	21

序章 計画の策定にあたって

1 地域ビジョン策定の目的

黒郷地区は、広島空港、山陽自動車道三原久井インターチェンジ及びJR山陽新幹線三原駅に比較的近く、高速交通条件に恵まれています。また、久井支所、久井保健福祉センター、くい文化センター、久井図書館などの公共施設が集積し、久井地域の中心地的な役割を果たしています。

しかし、若年層を中心に人口が流出するなど、高齢化・少子化が進行し、自治区をはじめとする各種団体の担い手が不足してきています。さらに、人口減少を背景として空き家が増加してきており、地区の活力が失われてきています。

こうした状況において、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して持続可能な地区づくりに取り組むことが一段と重要になっています。

このため、黒郷自治会では、平成30(2018)年3月に策定した「黒郷地区まちづくり推進計画」とその後の取組を踏まえて、新たに「第2期黒郷地区まちづくり推進計画（黒郷地域ビジョン）」の策定に取り組みました。

2 地域ビジョンの役割

「第2期黒郷地区まちづくり推進計画（黒郷地域ビジョン）」は、黒郷自治会が中心になって取り組むことを総合的に示したもので、住民、関係団体などで地区づくりの方向性を共有するとともに、共通の指針とするものです。

また、計画内容を広く発信して、黒郷地区出身者、都市住民、大学生など、多様な方の幅広い応援を働きかけるために活用します。

3 地域ビジョン策定の取組

黒郷自治会では、各種団体の代表者などとともに「黒郷地域ビジョン策定会議」を組織し、「第2期黒郷地区まちづくり推進計画（黒郷地域ビジョン）」の策定に取り組みました。

また、計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために「黒郷まちづくり意見交換会（ワークショップ）」を開催するとともに、第2期黒郷地区まちづくり推進計画（黒郷地域ビジョン）案の骨子を各戸に配布して意見募集を行いました。

1章 地区の概要

1 位置

本地区は、三原市久井地域のほぼ中央に位置しています。

地区中心部（黒郷コミュニティホーム）から主要な場所まで車を利用した場合の所要時間は、三原市中心部（三原市役所）まで約30分です。また、広島空港まで約30分、山陽自動車道三原久井インターチェンジまで約10分、JR山陽新幹線・山陽本線三原駅まで約30分です。このように、本地区は、広域と連絡する高速交通条件に恵まれています。

図 黒郷地区の位置



2 人口・世帯数

(1) 人口の動向

本地区の総人口を住民基本台帳で見ると、令和4(2022)年で268人になっており、過去5年間で約6%減少しています。

年齢3区分別人口をみると、令和4(2022)年で0～14歳23人、15～64歳124人、65歳以上121人で、高齢化率は約45%になっています。

年齢別人口の推移をみると、過去5年間で各年齢層ともに減少しています。

表 人口の推移

(単位：人，%)

区 分		実 数			増減数	
		H24 (2012)年	H29 (2017)年	R 4 (2022)年	H29(2017)－ H24(2012)	R 4(2022)－ H29(2017)
実 数	0～14歳	34	32	23	△2	△9
	15～64歳	156	129	124	△27	△5
	65歳以上	117	123	121	6	△2
	合 計	307	284	268	△23	△16
割 合	0～14歳	11.1	11.3	8.6	－	－
	15～64歳	50.8	45.4	46.3	－	－
	65歳以上	38.1	43.3	45.1	－	－

注：人口は、住民基本台帳（各年3月末現在）。

(2) 世帯数の動向

本地区の世帯数を住民基本台帳で見ると、令和4(2022)年で108世帯になっており、過去5年間で1世帯減少とほぼ横ばいとなっています。

1世帯当たり世帯人員は令和4(2022)年で2.48人になっており、過去5年間で0.08人減少しています。

表 世帯数等の推移

区 分	実 数			増減数	
	H24 (2012)年	H29 (2017)年	R 4 (2022)年	H29(2017)－ H24(2012)	R 4(2022)－ H29(2017)
世帯数（世帯）	111	109	108	△2	△1
世帯人員（人）	2.72	2.56	2.48	△0.16	△0.08

注：世帯数は、住民基本台帳（各年3月末現在）。

3 地区活動の状況

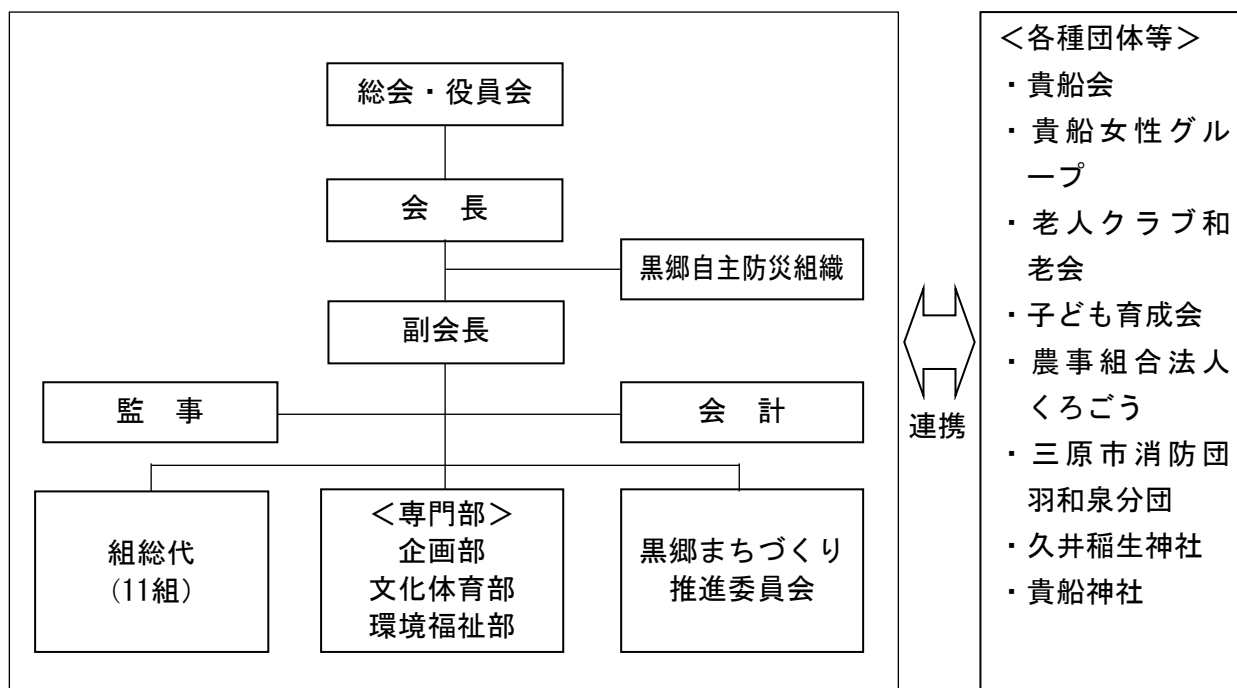
(1) 黒郷地区の各種団体

ア 黒郷自治会

黒郷自治会は11組で組織しており、役員会は組総代と各種団体の代表で構成しています。

また、本自治会では、企画部、文化体育部、環境福祉部の3専門部を設置して各種事業に取り組んでいるほか、「黒郷地区まちづくり推進計画」を実行するために黒郷まちづくり推進委員会を設置しています。

図 黒郷自治会の組織



イ その他の団体

その他の団体の活動状況は次のとおりです。

表 その他の団体の活動状況(1)

団体名	主な活動
貴船会	・ 男性有志で組織され、地区行事の中心的な担い手として活動しています。特に、2月に行われる節分祭では、鬼、殿様、カメラマンの役を担います。
貴船女性グループ	・ 女性で組織されたグループで、女性会解散後、貴船女性グループとして活動を継続しています。 ・ 地区行事の運営支援や料理作りなどの活動を行っています。
老人クラブ和老会	・ 65歳以上の方を対象とし、「健康」「友愛」「奉仕」の活動を行い、明るく、豊かで活力のある超高齢社会の実現を目指しています。
子ども育成会	・ 異年齢の子どもが集まる団体で、地区の連帯意識を育て、校外での様々な遊びを通した子ども達の健やかな成長を図ることを目的とした活動しています。

表 その他の団体の活動状況(2)

団体名	主な活動
ふれあい・いきいきサロン運営グループ	・ふれあい・いきいきサロンの運営グループとして、「椿会」と「宗重なかよしサロン」の2団体があります。
自主防災組織	・防災意識の啓発，災害時の避難行動要支援者の個別支援体制づくり，防災訓練，防災備品の備蓄等の活動を行っています。
農事組合法人くろごう	・地区の農地を多面的に集積し，効率的で持続可能な経営の確立を目指して設立された組織で，農地保全・管理，米・野菜等の生産・販売，地区環境の保全等の活動を行っています。
三原市消防団羽和泉分団	・出初式，消防訓練の実施，火災予防啓発活動，災害時の出動（市の要請等により活動）を行っています。
民生委員児童委員	・厚生労働大臣からの委嘱を受けて活動する福祉ボランティアで，高齢者，障害者，児童，ひとり親世帯等の実態把握，相談支援，各種行事への協力及び自主的な地区福祉活動等を行っています。

(2) 地区行事

本地区の主な行事は，次のとおりです。

表 主な地区行事

開催時期	名称	主な活動内容
6月	散乱ゴミ追放キャンペーン	・道路，河川の清掃，草刈り，空き缶拾いを行っています。
	親睦グラウンド・ゴルフ大会	・地区全体の全世代を対象とした大会で，毎年50名程度の参加があります。
7月	祇園祭	・大永4年（1524年），江木高根城主山名氏が参詣した際に，領民が奉納したことに由来するとされています。 ・久井稲生神社及び貴船神社で獅子舞，祇園踊りを奉納しています。
	貴船神社夏祭り	・貴船神社での催事
8月	健康づくりラジオ体操	・夏休み休暇中に住民がくい文化センター駐車場で，ラジオ体操を行っています。
	黒郷ふるさと夏祭り	・8月14日の盆の祭りで，盆踊り，ステージイベント，屋台の出店，ビンゴ大会等を実施しています。
9月	散乱ゴミ追放キャンペーン	・道路，河川の清掃，草刈り，空き缶拾いを行っています。
	敬老会	・敬老の祝い（祝賀会，会食等）。
11月	貴船神社秋祭り	・貴船神社の神様に五穀豊穰を感謝する催事。
	くろごうウォーキング大会	・11月下旬に健康づくりと交流を兼ねて，黒郷地区を約3kmウォーキングします。合わせて，体力測定，健康相談，昼食会，宝探し大会等も実施しています。
1月	とんど焼き	・小正月（1月15日）に松飾りやしめ縄など，正月飾りを持ち寄り，長い竹を組んだやぐらに火をつけて燃やすことで，住民の無病息災を祈り，交流する行事。
2月	節分祭り	・立春前の日曜日に，貴船会が鬼に扮して民家をまわり，「鬼は外，福は内」の掛け声で豆をまいて無病息災を願う行事です。
周年	いきいき百歳体操会	・黒郷体操くらぶが，毎週水曜日に黒郷コミュニティホームで「百歳体操」を行っています。
	ふれあい・いきいきサロン	・ふれあい・いきいきサロンを2か所で定期的開催しています。（椿会，宗重なかよしサロン）

注：令和3（2021）年度の活動に加えて，コロナ禍以前に行っていた行事を加えて整理。

(3) これまでの取組

黒郷自治会では、「黒郷地区まちづくり推進計画」に基づいて平成29(2017)～令和3(2021)年度の4年間に次のような事業に取り組みました。

表 4年間の主な取組

区 分	取 組 内 容
高齢者等の支援	<ul style="list-style-type: none">・ふれあい・いきいきサロン（椿会，宗重なかよしサロン），いきいき百歳体操会の支援・健康づくりラジオ体操の開催・くろごうウォーキング大会の開催・親睦グラウンド・ゴルフ大会の開催・ニコニコサロン交流会の開催（令和元年度）
地区行事	<ul style="list-style-type: none">・祇園祭りの獅子舞，祇園踊りの練習，祇園祭への参加・貴船神社秋祭りの支援・黒郷ふるさと夏祭りの開催（テント，食料，景品，法被，看板代等の購入）・とんど焼きの開催・節分祭の開催
農林業，観光・交流，その他産業	<ul style="list-style-type: none">・有害鳥獣対策備品の購入・燻炭づくり，袋詰め・片付け，販売，材料購入等
環境保全・環境美化	<ul style="list-style-type: none">・空き缶等のゴミ拾い活動・花壇づくり（基盤整備，苗植付け，管理）
自主防災	<ul style="list-style-type: none">・人命救助講習会（AEDの使い方）の開催・防災訓練，防災備品の購入（移動用発電機，AED）
情報発信	<ul style="list-style-type: none">・ホームページ「くろごう散策」の運営・「黒郷にちにち便り」の発行（月1回）
その他	<ul style="list-style-type: none">・備品の購入（パソコン，ユニットハウス，備品棚，会議用机，台車等）

2章 地区の魅力・資源と問題点・課題

1 地区の魅力・資源

黒郷地区の魅力・資源について、「黒郷地区まちづくり推進計画」の内容に黒郷地域ビジョン策定会議及び黒郷まちづくり意見交換会（ワークショップ）での意見などを加えて整理すると、次のとおりです。

表 地区の魅力・資源

区 分	魅力・資源
立地条件 交通条件	<ul style="list-style-type: none"> ・広島空港，山陽自動車道三原久井インターチェンジ，JR山陽新幹線三原駅に比較的近く，高速交通条件に恵まれた地区 ・三原市及び世羅町の中心地に近く，日常生活が比較的便利な地区
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・泉川と美しい田園景観 ・大池などのため池 ・タラヨウの木（市指定の天然記念物） ・サクラ並木（下組集会所前） ・ホタルの生息 ・ヒョウモンモドキの生息
歴史文化 資 源	<ul style="list-style-type: none"> ・貴船神社，番所地藏（22か所） ・祇園祭（祇園踊り，獅子舞） ・盆踊り
農地・農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人くろごうによる農地の保全，農業生産（米，大豆等） ・まちづくりグループによる燻炭づくり
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・久井地域を対象とした公共施設（久井支所，久井保健福祉センター，くい文化センター，久井図書館，グラウンド・ゴルフ場）の集積 ・久井町乗合タクシー「はなさく号」の運行 ・商業・サービス施設の立地 ・地区活動の拠点となっている黒郷コミュニティホーム ・黒郷橋北の花壇
地区活動 ・近隣関係	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・声かけする近隣関係 ・組単位での草刈り活動 ・ふれあい・いきいきサロン（椿会サロン，宗重仲良しサロン） ・いきいき百歳体操会 ・久井図書館横の遊具付きの公園 ・子どもパトロール活動 ・親睦グラウンド・ゴルフ大会，祇園祭，黒郷ふるさと夏祭り，敬老会，黒郷ウォーキング大会，とんど焼き，節分祭りなどの行事 ・「黒郷にちにち便り」の発行（月1回） ・ホームページ「くろごう散策」の運営

2 地区の問題点・課題

黒郷地区の問題点・課題について、「黒郷地区まちづくり推進計画」の内容に黒郷地域ビジョン策定会議及び黒郷まちづくり意見交換会（ワークショップ）での意見などを加えて整理すると、次のとおりです。

表 地区の問題点・課題

区 分	問題点・課題
高齢者などの暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし、高齢者のみの世帯の増加、自立した日常生活の不安 ・高齢者、障害者の相談、交流の場の不足 ・高齢者の健康不安、ひきこもり ・ふれあい・いきいきサロン、いきいき百歳体操会への参加者の固定化、減少 ・自家用車を運転できない人の外出手段の確保（買い物、通院等） ・元気な高齢者の活動の場の確保（生きがい活動、仕事） ・高齢者に対する犯罪、悪質な訪問販売被害の防止
人口減少・若者定住・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・若者及び子どもの減少、地区活力の低下 ・後継ぎの減少 ・若者の就業の場の不足 ・若者に魅力のない生活環境 ・子どもの遊び場の不足
農林地・農林業等の産業	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣被害の増加 ・耕作放棄地の増加、不十分な農地管理 ・農事組合法人活動の維持（組合員の活動に対する意識の低下、担い手不足） ・農業に担い手不足、若者の農業への関心の低下 ・山林の放置、荒廃 ・観光・交流資源が乏しく、世羅町への通過点、町外からの誘客が難しい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒョウモンモドキなどの動植物の保護 ・環境保全活動（草刈り等）の維持（人口減少、高齢化に伴う担い手不足） ・バス路線は2路線あるが便数が少なく不便、路線バス運行維持への不安 ・食事場所がない ・集積している公共公益施設の活用が不十分 ・医療機関が近隣に少ない ・空き家の増加と管理・活用への対応が不十分 ・飲料水の確保（上水道が未整備） ・生活道路が未整備
地区行事・地区活動	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化の継承、資源の活用が不十分 ・祇園踊り、盆踊りの担い手の減少、継承への不安 ・行事への関心の低下、参加者の減少（特に、若者、子ども） ・行事などのスタッフの固定化、負担の増大（特に女性グループ） ・人口減少、高齢化の中で、地区活動への住民個々の負担の増大 ・自治会、貴船会、和老会などの各種団体への住民の参加意欲が乏しい ・若年層への地区情報の伝達が不十分

3章 地域ビジョン

1 地区の将来像

本計画では、「黒郷地区まちづくり推進計画」策定時に掲げた地区の将来像を踏襲し、次のとおりとします。

<地区の将来像>

住んでよかった黒郷・住んでみたい黒郷でつながる健康と笑顔の町

2 地区づくりの目標設定

(1) 目標設定

地区の将来像の実現に向け、次のとおり目標を設定します。

ア 自治区加入率

現状値	めざす方向	目標値	備考
98% (令和4年度)	増加	100% (令和9年度)	・現状値は自治区調べ

イ 新規事業数

現状値	めざす方向	目標値	備考
— (令和4年度)	増加	7事業 (令和5～9年度)	・実施計画による

ウ 他団体との連携事業数

現状値	めざす方向	目標値	備考
— (令和4年度)	増加	12事業 (令和5～9年度)	・実施計画による

エ 移住者数

現状値	めざす方向	目標値	備考
— (令和4年)	増加	10人 (令和9年)	・毎年20代前半の夫婦1組が増加

(2) 人口の将来見通し

過去5年間（平成29(2017)年から令和4(2022)年）の人口推移が今後も継続した場合の人口を推計すると、計画策定年次の令和4(2022)年から20年後の令和24(2042)年には約230人になり、令和4(2022)年と比較して約40人減少するものと見込まれます。

こうした状況を打開し、持続可能な地区づくりに向けて、0～14歳人口に加えて15～64歳人口が増加に転じることを目標として、本計画で掲げる「愛着と誇りを持つ人が定住・移住するまちづくり」をはじめとする各種取組を推進します。

こうした取組の結果、毎年20代前半の夫婦1組が、過去5年間の動向より増加するものとし、令和24(2042)年の総人口を約290人と設定します。

注：人口推計は、島根県中山間地域研究センターの人口予測プログラムを用いました。

図 目標人口

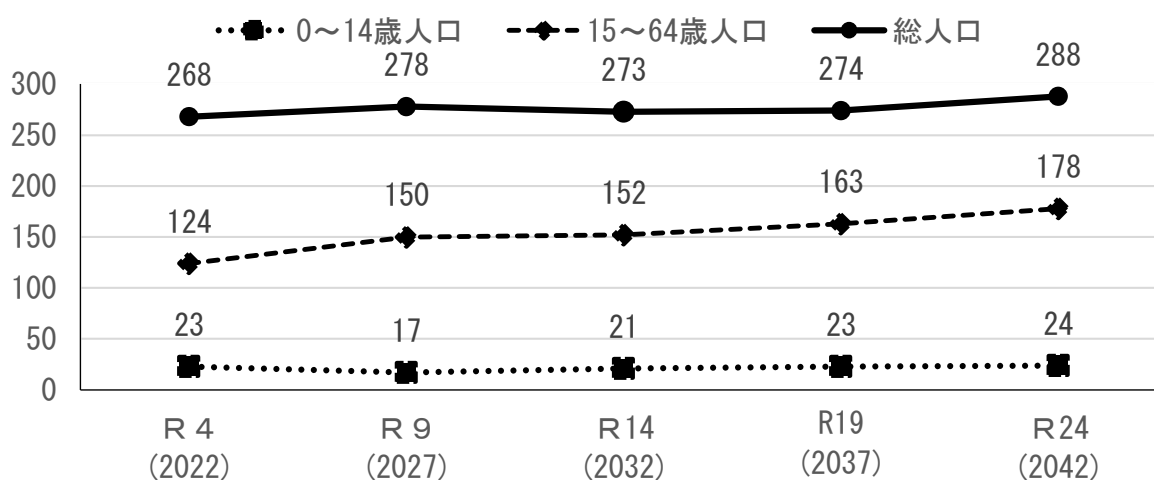


表 人口目標

(単位: 人)

区分	実績		推計		
	令和4(2022)年	令和9(2027)年	令和14(2032)年	令和19(2037)年	令和24(2042)年
0～14歳	23	17	21	23	24
15～64歳	124	150	152	163	178
65歳以上	121	111	100	88	86
合計	268	278	273	274	288

注-1：過去5年間の推移と比較して、毎年20代前半の夫婦1組が増加するものとした。

-2：出生率は、H29.4～R4.3までに出生した人口（0～4歳）をR4.3の20～39歳の女性人口で除した値。男性0.279、女性0.266。

-3：令和4(2022)年は3月31日現在の人口。

参考 過去5年間の人口推移が今後も継続した場合の人口推計

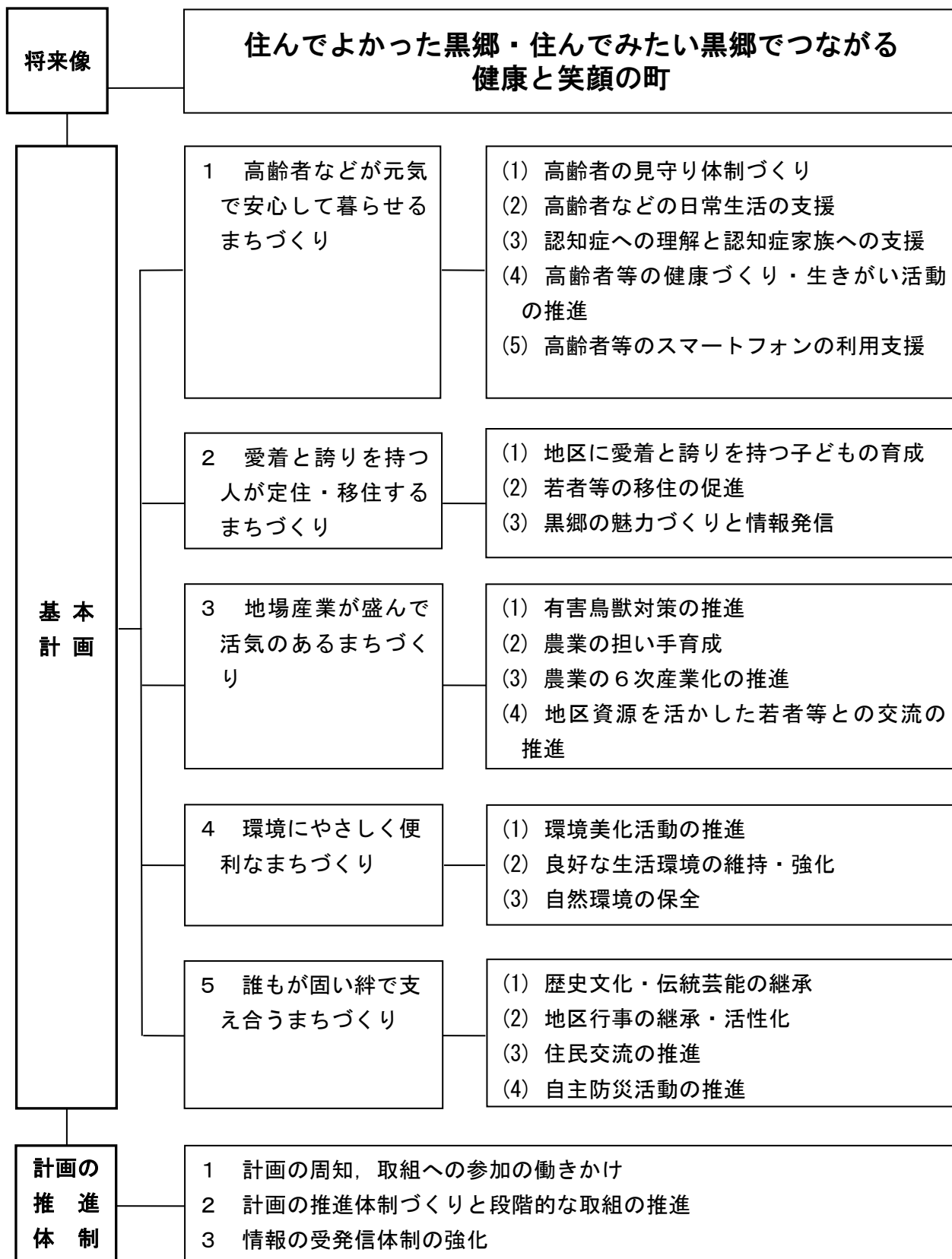
(単位: 人)

区分	実績		推計		
	令和4(2022)年	令和9(2027)年	令和14(2032)年	令和19(2037)年	令和24(2042)年
0～14歳	23	14	14	11	8
15～64歳	124	140	133	138	131
65歳以上	121	111	100	88	86
合計	268	265	247	237	225

3 地区づくりの体系

地区の将来像の実現に向けて、地区づくりの基本計画及び計画の推進体制を次のように掲げます。

図 地区づくりの体系



4 地区づくりの基本計画

地区の将来像を踏まえて、地区づくりの基本計画として5つの柱と主な取組を掲げます。

なお、取組事項は、「黒郷地区まちづくり推進計画」の内容を踏まえるとともに、黒郷地域ビジョン策定会議及び黒郷まちづくり意見交換会（ワークショップ）、第2期黒郷地区まちづくり推進計画（黒郷地域ビジョン）案の骨子に係る意見募集などにおける意見のうち、黒郷自治区をはじめとする各種団体及び住民が取組主体になる事項をとりまとめました。

1 高齢者などが元気で安心して暮らせるまちづくり

高齢者等の見守り体制づくり，日常生活の支援，認知症の理解と認知症家族への支援，健康づくり・生きがい活動の推進，スマートフォンの利用支援などを通じて，高齢者などが元気で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

(1) 高齢者の見守り体制づくり

- ・一人暮らしをはじめとする日常生活に不安のある高齢者などについて，犯罪，悪質な訪問販売被害などから守るとともに，見守り活動を強化します。
- ・近隣住民による見守りを充実するため，地区で見守り隊を組織し，見守りサポーターの確保・育成に取り組むとともに，民生委員児童委員との連携を強化します。
- ・見守りサポーター，民生委員児童委員，羽和泉地区社会福祉協議会，三原市社会福祉協議会などで構成する見守り連絡会議において，高齢者等の日常生活状況に係る情報交換を行い，一人ひとりに対して的確な支援に取り組みます。

(2) 高齢者等の日常生活の支援

- ・高齢者等の支援ニーズを把握し，困りごとなどへ適切に対応します。
- ・車を運転できない高齢者等の通院や買い物などの外出手段を確保するため，路線バス運行の維持を働きかけるとともに，久井町乗合タクシー「はなさく号」の周知，利用登録，利用促進及びサービスの向上に久井町自治区連合会と連携して取り組みます。さらに，近隣住民による自家用車での送迎，買い物代行などを検討します。
- ・一人暮らし高齢者をはじめとする高齢者のみで生活している世帯に対して，食生活の安定を図るために料理教室の開催，会食の場の提供に努めるほか，配食サービスの利用を働きかけます。
- ・ゴミ分別やゴミステーションへのゴミ出しが難しい高齢者等に対する支援に取り組みます。

(3) 認知症への理解と認知症家族への支援

- ・認知症に対する正しい知識と理解を持ち，地区で認知症の人やその家族を支援するために，認知症についての勉強会を開催するとともに，認知症サポーター養成講座を毎年開催して担い手の育成に取り組みます。
- ・認知症当事者や家族の孤立を防ぐため，交流の場（認知症カフェ）づくりに取り組みます。
- ・認知症高齢者が徘徊した場合の早期発見，保護のため，「黒郷の人が一人歩きしていたら声をかけよう」を共通認識として，周知を徹底するとともに，見守りネットワークの強化やスマートフォンのGPS機能の活用に取り組みます。

(4) 高齢者等の健康づくり・生きがい活動の推進

ア ふれあい・いきいきサロンの充実

- ・ふれあい・いきいきサロン（椿会，宗重なかよしサロン）の維持・充実を図るために，住民へのPRの強化による参加促進及び運営スタッフの確保に取り組みます。
- ・高齢者相互の交流を一層推進するため，年1～2回黒郷コミュニティホームで自治区内のふれあい・いきいきサロンの交流会の開催に取り組みます。
- ・ふれあい・いきいきサロンへの男性の参加を促進するプログラムづくりに取り組みます。
- ・既存のふれあい・いきいきサロンへ参加しにくい高齢者のために，新規のサロンづくりに取り組みます。

イ 健康づくり

- ・黒郷コミュニティホームなどを活用し，高齢者をはじめ住民全体の健康づくり（いきいき百歳体操，健康づくりラジオ体操，グラウンド・ゴルフ等）の充実に取り組みます。
- ・地区資源（花壇，番所地蔵等）及び四季の変化などを活用した様々なウォーキングコースづくりを行い，案内パンフレットの作成・配布などによりPRし，利用を促します。
- ・「くろごうウォーキング大会」をはじめとする様々なウォーキング大会の開催に取り組むとともに，これら大会の情報発信の強化により地区外からの参加を促進します。

ウ 交流，集いの場づくり

- ・黒郷コミュニティホームを活用し，高齢者をはじめとする住民全体の様々な交流や生きがい活動の推進に取り組みます。
- ・老人クラブ和老会や貴船会，貴船女性グループなどの活動情報の周知を行い，新規加入者の確保・支援に取り組みます。

(5) 高齢者等のスマートフォンの利用支援

- ・スマートフォンの操作に慣れている中高生を講師とする高齢者向けスマホ教室を定期的開催し，高齢者のスマホ操作技術の向上と世代間交流の促進に取り組みます。
- ・スマホ教室での学習を実践する場として，スマホフォトコンテストを行い，優秀作品をホームページで紹介するなどの取組を行うほか，災害時の情報伝達，ビデオ通話による安否確認，GPS機能を活用した所在確認などへの活用を検討します。

2 愛着と誇りを持つ人が定住・移住するまちづくり

地区に愛着と誇りを持つ子どもの育成，若者等の移住促進，黒郷の魅力づくりと情報発信を通じて，地区に愛着と誇りを持つ人が定住・移住するまちづくりに取り組みます。

(1) 地区に愛着と誇りを持つ子どもの育成

ア 地区に愛着と誇りを持つ子どもの育成

- ・子どもへ自然，歴史文化，農林業などの体験機会の提供により，地区に愛着と誇りを持つ子どもの育成に取り組みます。
- ・地区の行事，日曜学校への参加
- ・農事組合法人などと連携した農業体験の提供
- ・子ども向けイベントの開催（ホタルの育成・観察，動植物等の学習・観察・保護，昔遊びの伝承等）
- ・若者が地区での生活を懐かしみ，Uターンのきっかけになるように「20歳の思い出アルバムづくり（地区主催の祝賀会）」の開催に取り組みます。

イ 子どもの交流の推進

- ・既存の子どもの遊び場や久井図書館横に新たに遊具が整備された公園のPRと利用促進に取り組みます。
- ・中高生の要望を踏まえて，試験期間中や休祭日などに自主的に学習，交流できる場として，黒郷コミュニティホームの開放に取り組みます。
- ・子ども育成会で行っている芋掘り，小学校・中学校入学祝い，夏祭り，クリスマス会，旅行などの活動の維持・充実に取り組みます。

ウ 子育ての支援

- ・子ども110番，登下校の見守り，挨拶など，子ども見守り隊活動の維持・充実に取り組みます。
- ・児童数の減少に伴い活動が難しくなっている子ども会活動の支援に取り組みます。

(2) 若者等の移住の促進

ア 空き家の活用

- ・空き家活用に取り組むために必要な知識を習得するため，空き家活用勉強会を開催して，空き家の賃貸・売買に係る現状と課題，空き家支援制度，先進事例のを研究などに取り組みます。
- ・空き家調査及び所有者の意向把握などを行った上で，売買・賃貸意向のある空き所有者に対して，家財整理の支援，市の空き家整備補助金及び空き家バンク制度の紹介などを行い，空き家活用を推進します。

イ 移住希望者への支援

- ・移住希望者に対して，住民による地区の案内，おためし居住の場の提供，住宅，農地及び就業の場の紹介，住民との交流機会の提供などの支援に取り組みます。

ウ 移住者への支援

- ・移住者が地区に馴染めるように、困りごとなどへの相談へ対応するとともに、地区行事や各種団体の活動などへの参加を働きかけます。
- ・市に対して、移住者の住まい方マニュアルの作成を働きかけます。
(自治会への参加、近所づきあい、日常生活ルール、困りごとの相談先等)

(3) 黒郷の魅力づくりと情報発信

ア 良好な立地条件のPR

- ・広島空港，山陽自動車道，JR山陽新幹線の利用が便利な交通条件，公共施設などの集積，小中学校に隣接していることなど，地区の魅力のPRに取り組みます。

イ 若者等に魅力がある環境づくり

- ・農山村地域の四季の変化が楽しめる魅力的な生活環境づくりに取り組みます。
(四季の花の植栽，ウォーキングコースづくり等)
- ・地区の若者，子育て世帯が気軽に交流できるサロンづくりに取り組みます。

ウ 移住情報の発信

- ・地区外へ黒郷の魅力及び移住情報をホームページ・SNSなどで発信します。
- ・移住者の意見を聞いて，効果的な移住情報の発信に取り組みます。

3 地場産業が盛んで活気のあるまちづくり

有害鳥獣対策の推進，農業の担い手育成，農業の6次産業化の推進などによる農地の保全と農業の振興，地区資源を活かした若者等との交流の推進などを通じて，地場産業が盛んで活気のあるまちづくりに取り組みます。

(1) 有害鳥獣対策の推進

- ・有害鳥獣対策勉強会の開催，市の補助金を活用した共同防護柵の設置などの有害鳥獣対策の強化に取り組みます。
- ・有害鳥獣対策の担い手の確保・育成を図るために，狩猟免許及び罟設置免許の取得及び更新費用及び罟材料費の支援に取り組みます。

(2) 農業の担い手育成

- ・地区農業の中核的な役割を果たしている農事組合法人の活動の維持・充実を図るために，担い手の確保の支援に取り組みます。
- ・地区の若者の農業への関心を高めるため，農業団体と連携して農業のPR，農業研修の場の提供に取り組みます。
- ・親子農業体験の場の提供，食と農業に関する中学生，高校生，大学生との交流を通じて農業への理解と関心を高め，担い手の確保に結びつけます。

(3) 農業の6次産業化の推進

ア 農業生産の維持

- ・農事組合法人や各農家が生産している米，大豆，野菜などの生産を維持するために，地区を挙げて農作業の支援（農繁期応援等）に取り組みます。

イ 特産品づくり

- ・もみ殻を活用した燻炭づくりの維持・充実を図るため，担い手グループの活動のPR，新規会員の確保，販路開拓の支援などに取り組みます。
- ・農事組合法人や燻炭づくりグループに対して新規野菜の生産，畜産農家に対して乳製品の開発などを働きかけます。
- ・地区で生産される農産物（米，大豆，野菜，乳製品等）のPRとブランド化を推進します。

ウ 農産物加工の推進と郷土料理の継承

- ・地元農産物を材料とする加工品づくり（漬物，味噌等）の維持，継承に取り組むとともに，新規加工品の開発に取り組みます。
- ・郷土料理（赤飯，押し寿司等）を継承するために，レシピの作成，料理教室の開催などに取り組みます。

エ 農産物直売所の設置・運営

- ・家庭用に栽培した野菜などの有効利用，女性グループによる加工品の販売促進，元気な高齢者へ生きがい活動の場を提供するため，農産物（米，野菜，乳製品，漬物，味噌等）の直売に取り組みます。
- ・農産物の直売に関心のある農家・グループなどを募集して農産物直売研究会（仮称）を立ち上げ，先進事例（軽トラ市，農産物直売所の運営）の研究，近隣の農産物直売グループのヒアリングなどにより，運営ノウハウの研究に取り組みます。
- ・軽トラ市の開催などに試行的に取り組んだ後，これらの経験を踏まえて常設の農産物直売所の設置を目指します。

(4) 地区資源を活かした若者等との交流の推進

ア 食と農業に関心のある若者等との交流の推進

- ・将来の農業及び黒郷のまちづくりの担い手を育成するため，食と農業に関心のある若者等との交流に取り組みます。
 - ・親子農業体験の提供（就学前の子どもと保護者に対して農産物収穫体験等）
 - ・地区内の小中学生向け農業体験教室の開催
 - ・地区内外の高校生，大学生と，食と農業を通じた交流や地場食材を使用した特産品開発，商品化の取組の実施（例：総合技術高校食デザイン科，大学の農学部等）
- ・食や農業に関心を持つ若者等に対して，農事組合法人と連携して農業研修イベントの開催に取り組みます。
 - ・黒郷特産の農産物，郷土料理などの紹介
 - ・農作業，農業機械の運転，米・野菜などの製品化プロセス，軽トラック市での販売などの体験の提供
 - ・地元食材を活かした郷土料理づくり，試食会の開催

イ 若者等との幅広い交流の推進

- ・若者等との幅広い交流を通じて黒郷の応援団になってもらうために、食や農業を通じての交流に加えて、アウトドアスポーツの場（スケートボード、セグウェイ、ドローン等）の提供に取り組みます。

4 環境にやさしく便利なまちづくり

環境美化活動の推進，良好な生活環境の維持・強化，自然環境の保全などを通じて，環境にやさしく便利なまちづくりに取り組みます。

(1) 環境美化活動の推進

- ・公共施設や商業・サービス施設の集積している道路沿道（一般県道上徳良久井線及び羽和泉室町線）をフラワーロードとして整備します。
 - ・黒郷橋北の花壇管理の継続
 - ・道路沿道の草刈り・清掃，芙蓉やひまわりなどの四季の花の植栽
- ・フラワーロードづくりと併せて，久井保健福祉センター，くい文化センター及び久井図書館周辺，貴船神社の社寺林などに桜，紅葉などを植樹し，四季の変化の楽しめる景観づくりに取り組みます。
- ・泉川の河川清掃，河床土砂の除去などにより，親しみのある河川環境づくりに取り組みます。
- ・環境美化活動を通じて，地区住民，買い物客，公共施設利用者などの来訪頻度の増加を促します。

(2) 良好な生活環境の維持・強化

- ・地区内にある久井保健福祉センター，くい文化センター，久井図書館，グラウンド・ゴルフ場などの地区資源を活用した行事づくりに取り組みます。
（くい文化センター，久井図書館駐車場を活用した軽トラック市の開催等）
- ・黒郷の良好な環境を維持するために，若者向けの草刈り機使用講習会の開催，組単位から地区全体での草刈りの実施，草刈り応援隊の設置などに取り組みます。

(3) 自然環境の保全

- ・ヒョウモンモドキをはじめとする昆虫，野鳥などの保護，自然生態系の観察の場づくりに取り組みます。
- ・ホタルが生息している一帯の環境を整備し，ホタルの保護・育成に取り組みます。
- ・タラヨウの木の保護に取り組みます。

5 誰もが固い絆で支え合うまちづくり

地区の歴史文化を継承するとともに、地区行事の継承・活性化、住民交流の推進、自主防災活動の推進などを通じて、誰もが固い絆で支え合うまちづくりに取り組みます。

(1) 歴史文化・伝統芸能の継承

ア 歴史文化資源の発掘、継承

- ・地区の歴史文化の発掘・整理、古文書、写真の収集、高齢者の聞き取りなどにより、地区資源マップや黒郷郷土誌づくりに取り組みます。
(番所地蔵、貴船神社などの調査、その他資源の発掘)
- ・地区の歴史文化を次世代に引き継ぐために、歴史文化学習会を開催するとともに、番所巡りなどの歴史文化散策コースづくりとウォーキング大会の開催に取り組みます。

イ 祭りの歌・踊りの継承

- ・祇園祭りの祇園踊り、獅子舞、囃子、ふるさと夏まつりのくどき、盆踊りを次世代に引き継ぐために、歌、踊りを収録した伝統芸能保存DVDの作成に取り組みます。
- ・伝統芸能保存DVDをユーチューブにアップし、個人及び団体の練習へ活用します。
- ・地区住民だけでなく地区出身者、都市住民、大学生などにも働きかけて、幅広い後継者の育成に取り組みます。
- ・地区住民を講師とするとともに伝統芸能保存DVDを活用し、黒郷地区の小中高生を対象とした伝統芸能学習会の開催に取り組みます。

(2) 地区行事の継承・活性化

ア 既存行事の見直し、活性化

- ・人口減少、高齢化の進行に伴い地区行事を維持する上で住民の負担が増していることから、行事の総合的な見直し（スタッフの負担軽減、行事の魅力化、行事参加者の維持・増加対策等）に取り組みます。
 - ・小中高生、若者の運営スタッフとしての参加、地区出身者、都市住民、大学生等の応援
 - ・各行事に対する小中高生、若者のニーズ把握とプログラムへの反映
 - ・行事のPR方法の検討（ホームページ・SNSの活用）
- ・地区で最も参加者の多い黒郷ふるさと夏まつりの魅力向上に取り組みます。
(子どもや帰省者が主役になり、楽しめる場づくり等)
- ・節分祭りへ園児、小学生の参加を働きかけるとともに、鬼面・小道具の充実、PRの強化などを通じて、行事を盛り上げます。

イ 新規の行事づくり

- ・就学前の子どもや小学生が主役で参加できる行事づくりに取り組み、子育て世帯の参加を促進します。
- ・地区外から集客できる魅力ある行事づくり（地区運動会、宝探しイベント、花見等）に取り組みます。

ウ 担い手の確保・育成

- ・地区行事のスタッフとして，中高生，若者の参加促進に取り組みます。
- ・隣接する久井小学校，久井中学校の児童生徒の行事への参加を依頼し，行事を盛り上げます。

(3) 住民交流の推進

- ・黒郷コミュニティホームを開放し，誰もが気軽に訪れ，お茶を飲むことができる場づくりに取り組みます。
- ・いきいき・ふれあいサロンなど既存のグループの利用に加えて，小中高生，若者，子育て世帯などの利用を促進するために，W i f i 環境が整備されていることをPRするとともに，こうした世代が利用するために必要な備品の充実に取り組みます。

(4) 自主防災活動の推進

ア 防災意識の高揚

- ・組単位で住民一人ひとりの災害時の避難行動について話し合い，近所で助け合う体制づくりに取り組みます。
- ・ハザードマップを踏まえて，地区内の災害危険個所の点検を定期的に行い，地区独自の詳細なハザードマップの作成・更新に取り組みます。
- ・防災講習会，A E D（自動体外式除細動器）を活用した救急救命研修会の開催などを継続し，防災意識の啓発に取り組みます。

イ 迅速な避難行動の準備

- ・災害時の避難指示を迅速に伝達する体制づくり（ライン，電話等のネットワーク）に取り組みます。
- ・災害時の避難行動要支援者に対する避難支援体制づくりと避難行動要支援者名簿の定期的な更新に取り組みます。

ウ 災害への準備・的確な対応

- ・自主防災活動に指導的な役割を果たす人材の育成に取り組みます。
（防災士取得支援，各種防災研修・講演会への派遣等）
- ・災害時における自治会及び各種団体の連携体制の確立，定期的な避難訓練を実施するとともに，避難所運営体制の確立及び防災備品の充実に取り組みます。

5 計画の推進体制

(1) 計画の周知，取組への参加の働きかけ

- ・各種団体の会合などで「第2期黒郷地区まちづくり推進計画（黒郷地域ビジョン）」の周知に取り組みます。
- ・住民一人ひとりの地区づくりへの当事者意識を醸成するとともに，地区づくり活動への参加を働きかけます。

(2) 計画の推進体制づくりと段階的な取組の推進

ア 幅広い参加と持続的に活動できる体制の確立

- ・「第2期黒郷地区まちづくり推進計画（黒郷地域ビジョン）」の実行にあたっては，自治会が核になるとともに，地区の各種団体等と連携して取り組むこととし，それぞれの団体へ幅広い人材の参加を働きかけます。
- ・自治会などへ女性，若者の参加を促進するため，同世代の横の結びつき，若い世代の多い消防団，保護者会及びPTAなどを活用した参加の働きかけ，会議の開催曜日・時刻への配慮などによる参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- ・地区の人材，事業所などの得意分野を整理したリストを作成し，地区づくりに適材適所で協力してもらう体制を確立します。
- ・講習会・研修会などへの派遣，講演会の開催，先進地視察の実施などによる人材育成に取り組みます。

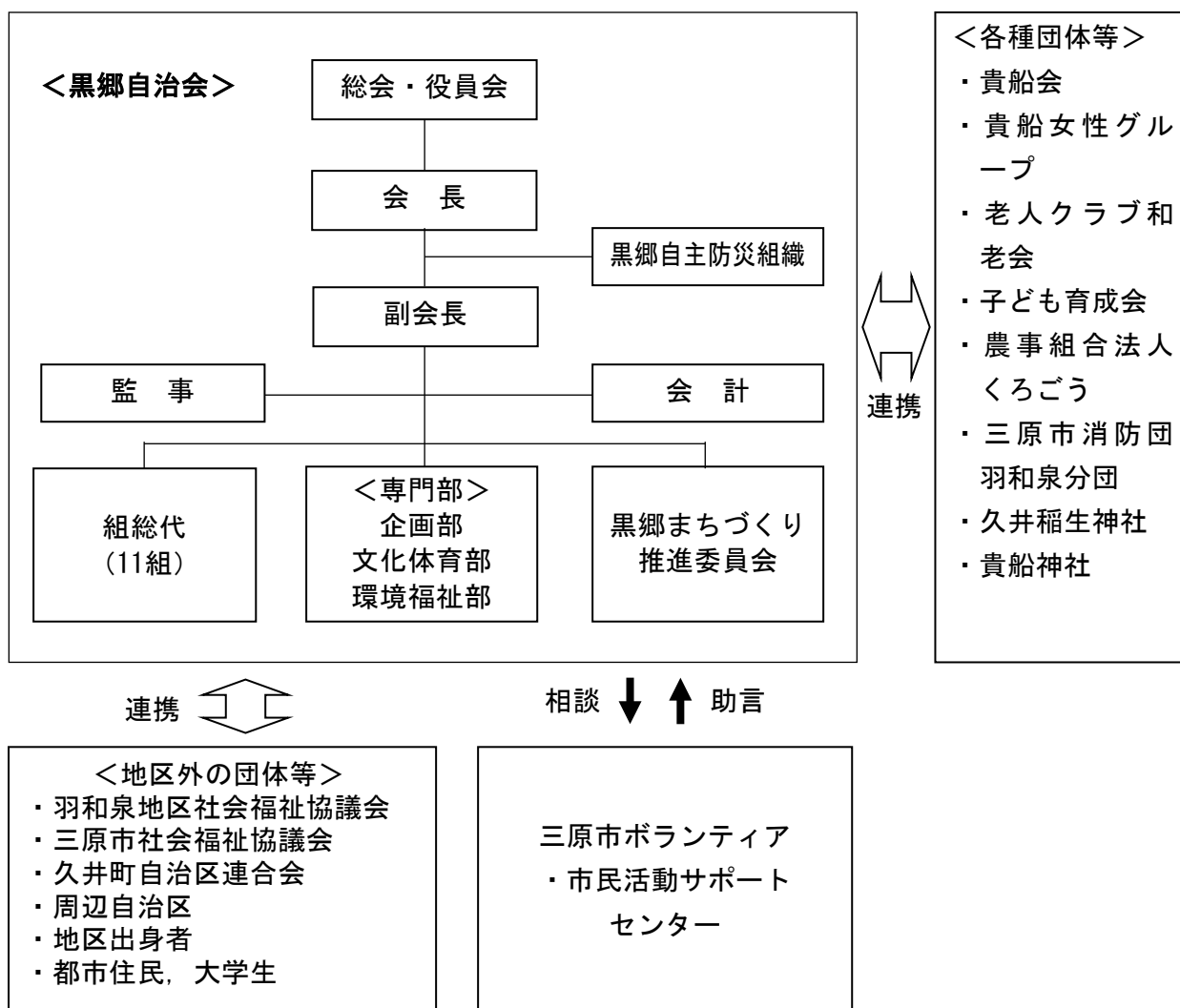
イ 地区外の個人，団体との連携の強化

- ・三原市ボランティア・市民活動サポートセンターと連携し，地区づくりへの助言，専門的人材の紹介・派遣などの支援を受け，地区づくり活動の活性化を図ります。
- ・羽和泉地区社会福祉協議会及び三原市社会福祉協議会と連携して子ども及び高齢者などへの福祉活動を推進します。
- ・三原市中山間地域の共通課題（高齢者の生活支援，移住促進，観光・交流，情報発信等）に対して効果的に取り組むため，久井町自治区連合会及び周辺自治区などとの連携を強化します。
- ・地区出身者，都市住民，大学生などに対して，地区行事への参加や地区づくりへの応援を働きかけます。

ウ 活動財源の確保

- ・活動資金を確保するため，収益事業の導入に積極的に取り組むほか，国，県，市などの支援制度の活用を図ります。
- ・農産物販売，観光・交流事業をはじめとする収益事業の受け皿として，NPO法人，一般社団法人及び住民出資のまちづくり会社などの設立に取り組みます。

図 第2期黒郷地区まちづくり推進計画（黒郷地域ビジョン）の実行体制



(3) 情報の受発信体制の確立

ア 地区内への情報の受発信

- 地区情報が住民一人ひとりに周知徹底できるように、回覧板の維持、「黒郷にちにち便り」の紙面内容の充実に取り組みます。
- 若者世帯に対しては、SNSを活用した情報の受発信に取り組みます。
- 役員会、専門部、黒郷まちづくり推進委員会の会議及び各種行事の日程調整や開催通知などについて、ラインの活用に取り組みます。

イ 地区外への情報の受発信

- 黒郷自治会のホームページ「くろごう散策」の充実、SNSでの情報発信に取り組み、地区出身者、都市住民、大学生などに対して地区の魅力（自然、歴史文化、産業、立地条件）、年間行事・祭りのスケジュール及び移住情報（相談先、住宅・農地・仕事等の情報）などを発信します。
- 黒郷の魅力を発信するため、ドローンで黒郷の美しい映像を撮影し、ホームページ・SNSでの発信に取り組みます。

- ・各種団体，個人のホームページ・SNSなどを通じて，地区外の知人・友人などへの情報発信を働きかけます。

ウ 人材の確保・育成

- ・黒郷自治会のホームページ・SNSを管理，活用できる人材の確保・育成に取り組み，タイムリーな情報の受発信体制を確立します。